

上越のゆめ共創室方針

室長 中田 大輔

戦後復興の象徴とされた1964年の東京五輪、幼い頃に見たアニメ漫画で描かれていた未来。当時の日本は年齢を問わず誰もが夢を抱き、語り、目標としてきました。先人たちが思い描いた夢の未来に私たちは立っている筈なのに、様々なものが便利になった現代は、逆に夢のない社会とも言われています。今こそ「あの頃の未来」を生きる私たちが、子どもたちにとって夢のある「これからの未来」を地域と共創していく必要があります。

当室では、将来の上越が夢溢れるまちであるために、地域の特性を活かした人々が誇りの持てる魅力あるまちづくり、未来を生き抜く人間力を備えた子どもたちの育成を目指し、「スポーツ」・「教育」という側面から運動を展開していきます。スポーツには実際にプレーする選手や関係者だけでなく、見ている人々をも熱く感動や夢を与える力があります。豊かな自然や多様なスポーツ施設を備える上越のポテンシャルを最大限に活かし、一過性なものではない地域に根付き地域に愛され地域が誇れるスポーツの普及を産学官民一体となって目指すことは、夢ある上越の未来に向けて人々の心を動かし地域を動かす推進力と成り得ます。また、第4次産業革命とも呼ばれる人工知能などの技術革新は、第1・2次産業従事者の高齢化や減少問題を抱える上越にとっても、近い将来重要な労働力として益々身近な存在となるはずです。社会構造が変わるということは、社会が求める『人間像』も変わることを意味します。人間だけが持ち得る夢を描く想像力と豊かな心を育む教育を推進し、何れ訪れる『人工知能共存社会』に必要とされる人財の育成に寄与します。

夢ある地域には夢のある子どもたちが育ち、夢を求める多様な人の流れを創出します。我々JCが夢を語り夢に向かって地域を捲込んだ運動を展開すること、それが未来の主役である子どもたちの生きる礎となり、夢溢れる上越の実現に必ずやつながると確信します。

【運営方針】

1. スポーツを通じた夢溢れるまちづくりの礎を構築します。
2. 未来を生き抜く人間力を持った子どもたちを育成します。
3. 夢を語り合えるメンバー間の関係構築に努めます。